

協 議 事 項 2  
(即付議議案第69号)

- 1 協議事項名 平成31年度徳島県公立学校教員採用候補者選考審査要綱について
  
- 2 協議理由 平成31年度徳島県公立学校教員採用候補者選考審査要綱の制定をする必要があるため
  
- 3 関係法規 教育公務員特例法第11条  
徳島県公立学校職員の採用に関する規則

教 職 員 課



# 平成31年度徳島県公立学校教員採用候補者選考審査要綱【案】

徳島県教育委員会

平成31年度徳島県公立小学校，中学校，高等学校，特別支援学校の教員採用候補者選考審査を次のとおり実施する。

## 1 募集対象

校種等及び職種		教科等	採用予定数
小学校教諭			156名程度
中学校教諭		国語，社会，数学，理科，音楽，美術，保健体育，技術，家庭，英語	
高等学校教諭		国語，地理歴史，公民，数学，理科(物理，化学，生物，地学)，保健体育，音楽，美術，書道【2(注)3参照】，英語【2(注)4参照】，家庭，農業，工業(機械，電気，建築・土木)，商業，水産，看護，福祉	60名程度
特別支援学校教諭 【2(注)1参照】	小学部	視覚障がい領域，聴覚障がい領域，知的障がい・肢体不自由・病弱領域	
	中・高等部	視覚障がい領域，聴覚障がい領域，知的障がい・肢体不自由・病弱領域	
小・中・高・特支養護教諭			11名程度
小・中学校栄養教諭			3名程度
身体に障がいのある者を対象とした選考		すべての校種等及び職種並びに教科等	3名程度

(注) 1 日本国籍を有しない者を任用する場合は，任用の期限を付さない常勤講師とする。

2 高等学校教諭「理科」「工業」については，それぞれ( )に示した区分ごとに募集する。

3 身体に障がいのある者を対象とした選考の採用予定数は，各校種等及び職種の採用予定数に含む。

## 2 出願資格

次の(1)～(4)の選考区分ごとに掲げる条件に該当する者で，地方公務員法第16条及び学校教育法第9条に規定する欠格条項に該当しない者であり，かつ，出願する校種等及び職種並びに教科等に相当する教育職員免許法に規定する普通免許状を有する者又は平成31年3月31日までに当該普通免許状を取得見込みの者。

ただし，(2)特別選考のうち②に該当する者にあつては，当該普通免許状の取得又は取得見込みがなくても出願できる。

(注) 1 特別支援学校教諭については，各相当領域の免許状に加え，小学部にあつては小学校教諭の免許状を，中・高等部にあつては中学校教諭又は高等学校教諭のいずれかの免許状を有する者(取得見込みの者を含む)に限り出願できる。中・高等部の募集教科等については，中学校教諭，高等学校教諭に準ずる。

2 高等学校教諭「社会」の免許状を有する者は，「地理歴史」又は「公民」のいずれか一つに限り出願できる。

3 高等学校教諭「書道」については，「書道」に加え，「国語」の免許状を有する者に限り出願できる。

4 高等学校教諭「英語」については，「英語」の免許状に加え，英検準1級相当以上の資格を有する者に限り出願できる。

なお，英語に関する資格については，P4の「6 英語の資格に関する基準」を参照のこと。

### (1) 一般選考

昭和54年4月2日以降に生まれた者

### (2) 特別選考

#### ①社会人を対象とした選考(以下「特別選考①」という)

昭和44年4月2日以降に生まれた者であつて，民間企業等で，平成30年3月末現在，通算して3年以上，正規社員として勤務し，その勤務経験により，出願する教科等に関する専門的な知識又は技能を有する者。該当者は，第1次審査の筆記審査(教養)を免除する。

②特別免許状授与を前提とした社会人選考(以下「特別選考②」という)

教員免許状を有しない者であって、①に該当し、高等学校教諭「家庭」「農業」「工業」「商業」「水産」「看護」又は「福祉」に出願を希望する者のうち、特別免許状の取得条件(下記参照)を満たす者。該当者は、第1次審査の筆記審査(教養)を免除する。

ただし、「家庭」については「管理栄養士免許証」を有する者、「福祉」については「介護福祉士登録証」を有する者を対象とする。

特別免許状制度は、様々な分野において優れた知識や技術を有する社会人を学校教育に迎え入れ、学校教育の活性化を図る観点から設けられた制度であり、特別免許状は、都道府県教育委員会が実施する教育職員検定に合格した者に対して授与され、その都道府県内においてのみ効力を有することとなっている。

この教育職員検定の実施については、教育職員免許法第5条第3項によるものとする。

③本県での教職経験を有する者を対象とした選考(以下「特別選考③」という)

昭和44年4月2日以降に生まれた者であって、過去に、本県に所在する公立の小・中・高等学校・特別支援学校の教諭、養護教諭又は栄養教諭の職にあった者。該当者は、第1次審査の筆記審査(教養)を免除する。

④現職教員を対象とした選考(以下「特別選考④」という)

昭和44年4月2日以降に生まれた者であって、現に、他の都道府県に所在する国公立の小・中・高等学校、中等教育学校、特別支援学校、義務教育学校に勤務し、平成30年3月末現在、3年以上の実勤務のある教員(臨時的任用に係る者を除く)。

ア 昭和54年4月2日～昭和63年4月1日の間に生まれた者については、第1次審査を免除する。

イ ア以外の者については、第1次審査の筆記審査(教養)を免除する。

⑤スポーツ特別選考(以下「特別選考⑤」という)

昭和54年4月2日以降に生まれた者であって、中学校教諭又は高等学校教諭の「保健体育」を志願する者のうち、次のア又はイの要件を満たす者。アの要件を満たす者については、第1次審査を免除する。イの要件を満たす者については、第1次審査の筆記審査(専門)を免除する。なお、アの出願書類については、書類選考の結果、イとして受理することがある。

ア 高等学校卒業後、平成25年4月1日以降に、国際レベルの大会(オリンピック大会・アジア大会・世界選手権大会等)において日本代表として出場、又は日本選手権大会やこれに準ずる全国レベルの大会において優勝又は準優勝した者で、今後も現役選手として活躍できる者。

ただし、学生大会やジュニア選手権大会等、参加年齢制限を加えた大会を除く。また、団体種目の場合は、その大会に選手として登録されていた者とする。

イ 高等学校卒業後、日本選手権大会又はこれに準ずる全国レベルの大会において、

(個人種目)8位以内に入賞した者

(団体種目)4位以内で、かつ、その大会に選手として登録されていた者

⑥臨時教員に係る特別選考(以下「特別選考⑥」という)

昭和44年4月2日以降に生まれた者であって、過去4年間(平成26～29年度)に24日以上、本県の小・中・高等学校・特別支援学校で臨時教員等としての勤務経験を有する者。該当者は、第1次審査の筆記審査(教養)を免除する。

(3) 採用候補者名簿(B)に登載された者を対象とした選考

平成30年度徳島県公立学校教員採用候補者選考審査において採用候補者名簿(B)に登載された者。該当者は、登載教科等を受審する場合において第1次審査を免除する。

(4) 身体に障がいのある者を対象とした選考

昭和44年4月2日以降に生まれた者であって、次の2点をともに満たす者。

- ・自力で通勤ができ、介助者なしに教員の職務の遂行が可能なる者
- ・「身体障害者手帳」の交付を受け、その障がいの程度が1級から6級までの者

なお、出願資格・選考方法は上記(1)～(3)に準ずる。ただし、障がいの種類・程度に応じた配慮を行う。

3 加点申請制度((1)～(8)の申請については、5(2)③を参照のこと)

- (1) 中学校教諭「音楽」「美術」「保健体育」「技術」「家庭」を志願する者で、出願教科以外の中学校教諭免許状を有する者には、第1次審査の総合点に加点する。
  - (2) 高等学校教諭を志願する者で、高等学校教諭「情報」の免許状を有する者には、第1次審査の総合点に加点する。
  - (3) 高等学校教諭「地理歴史」又は「公民」を志願する者で、高等学校教諭「地理歴史」と「公民」の両方の免許状を有する者には、第1次審査の総合点に加点する。
  - (4) 小学校教諭、中学校教諭、高等学校教諭、特別支援学校教諭を志願する者で、司書教諭の資格を有する者には、第1次審査の総合点に加点する。
  - (5) 小学校教諭及び中学校教諭「英語」を志願する者で、英検準1級相当以上の資格を有する者には資格の程度に応じて、第1次審査の総合点に加点する。  
 なお、英語に関する資格については、P4の「6 英語の資格に関する基準」を参照のこと。
  - (6) 高等学校教諭「英語」を志願する者で、英検1級相当の資格を有する者には第1次審査の総合点に加点する。  
 なお、英語に関する資格については、P4の「6 英語の資格に関する基準」を参照のこと。
  - (7) 高等学校教諭「家庭」を志願する者で、高等学校教諭「福祉」の免許状、「調理師免許証」「管理栄養士免許証」「介護福祉士登録証」を有する者には、免許等の所有数に応じて第1次審査の総合点に加点する。
  - (8) 高等学校教諭「福祉」を志願する者で、「介護福祉士登録証」を有する者には第1次審査の総合点に加点する。
- (注) 上記(1)～(8)の複数項目に該当する場合は、加点の上限がある。

4 採用候補者の名簿登載期間更新制度

国内の大学院進学予定者又は大学院に在籍する者が、平成31年度徳島県公立学校教員採用候補者選考審査(小学校教諭)において採用候補者名簿(A)に登載された場合、名簿登載期間の更新申請を行うことにより、名簿登載の有効期間をさらに1年間延長できることとする。

なお、本制度を希望する者は、次の①及び②の手続きを行わなければならない。

- ①第1次審査の合格者に送付される希望調査により、希望する旨を事前に申し出ること。
- ②採用候補者名簿(A)に登載された後、指定する日までに正式な申請手続きを行うこと。

- (注) 1 大学院とは、標準修業年限2年以下の修士課程(博士課程前期を含む)、専門職学位課程とする。(3年間の長期履修学生制度を含む。)ただし、専ら夜間において教育を行う課程や通信教育を行う課程は除く。
- 2 名簿登載期間更新の可否については、個人面接の上で決定する。
- 3 更新できる回数は、大学院進学予定者は2回まで、大学院に在籍する者は1回とし、任用にあたっては大学院修了を条件とする。ただし、長期履修学生制度については、進学予定者は3回まで、在籍者は2回までとし、任用にあたっては大学院修了を条件とする。

5 出願手続

(1) 受 付

①出願期間 平成30年5月14日(月)～平成30年5月28日(月)

②出願方法

○郵送による出願

書留にて郵送のこと。平成30年5月28日(月)までの消印のあるものに限る。

出願先 〒770-8570 徳島市万代町1-1 徳島県教育委員会教職員課

封筒の表面に校種等及び職種、出願教科等を朱書きすること。なお、持参による出願は受け付けない。

○インターネットによる出願

一般選考(加点申請者を除く)に限り、徳島県ホームページ(<https://www.pref.tokushima.lg.jp/>)のトップページ下部「オンライン行政サービス」より出願できる。

(2) 出願書類

① 選考区分に応じて、次のア～ケの内、該当する書類を郵送により提出すること。

選 考 区 分	提 出 す る 書 類
一般選考及び採用候補者名簿(B)に登載された者を対象とした選考	ア、イ、ウ、エ
特別選考①及び特別選考②	ア、イ、ウ、エ、オ、カ
特別選考③及び特別選考④	ア、イ、ウ、エ
特別選考⑤	ア、イ、ウ、エ、キ
特別選考⑥	ア、イ、ウ、エ、ク
身体に障がいのある者を対象とした選考	ア、イ、ウ、エ、ケ

ア 志願書・履歴書(所定のものに写真を貼付すること)

イ 第1次審査結果通知用封筒(長形3号, 12cm×23.5cm)(宛名に受審者の住所及び氏名を記入し、392円切手を貼付すること)

ウ 受審票(所定のものに82円切手を貼付すること)

エ 整理票・自己推薦書(所定の様式に必要な事項を記入すること)

オ 勤務経験等により得た専門的な知識又は技能を、どのように学校教育に生かしていくのか、その具体的方法や決意を記した作文(様式は自由でA4判1枚。1200字以内。校種、氏名を明記すること)

カ 正規社員としての勤務歴が証明できるもの及び勤務経験により出願する教科等に関する専門的な知識又は技能を修得したことを証明できるもの。例えば、勤務先の所属長等による推薦書、取得している資格、勤務に関連して執筆し学術雑誌等に掲載した論文など。

キ 実績等の概要及び現在の活動状況をまとめたもの(様式は自由でA4判1枚。校種、氏名を明記すること)と大会要項、実績を証明できるもの。実績を証明できるものとは、例えば、表彰状、新聞記事等の写しなど。

ク 「臨時教員の勤務歴等に係る証明書(国・市町村、私立学校の発令がある場合)」、「臨時教員の勤務歴等に係る申立書」(様式は別紙参照)

ケ 「身体障害者手帳」の写し及び受審の際に配慮を必要とする事項を明記したもの(様式は自由でA4判1枚。校種、氏名を明記すること)

② 高等学校教諭「英語」「福祉」に出願する者は、次の書類の写しを添付するとともに、原本を7月23日(月)の第1次審査時に持参すること。なお、英語に関する資格については、P4の「6 英語の資格に関する基準」を参照のこと。

「英語」：英検準1級相当以上の資格を有することを証明する書類

「福祉」：「介護福祉士登録証」

③ 加点申請(上記3参照)をする者は、整理票の資格等の欄に当該資格名及び得点や級を記入し、資格取得を証明する書類や免許状の写しを添付すること。加えて、その原本を7月23日(月)の第1次審査時に持参すること。なお、出願期間以降に資格や免許状を取得した者は、7月30日(月)までに、その原本を徳島県教育委員会教職員課に提示すれば、加点申請者とみなす。

## 6 英語の資格に関する基準

	実用英語技能検定	TOEFL(iBT)	TOEIC	IELTS
英検1級相当	1級	110点以上	945点以上	7.0以上
英検準1級相当	準1級	80点以上	730点以上	6.0以上

## 7 出願上の注意

(1) 各校種等及び職種並びに教科等のいずれか一つに限り出願できる。

なお、小・中・高・特支養護教諭の受審者は、あらかじめ採用志願書及び整理票、受審票の所定の欄に、希望する校種の順位を必ず記入すること。

ただし、小・中・高・特支養護教諭の合格者の採用時の校種は、その採用の日までに徳島県教育委員会において決定する。

(2) 一般選考、特別選考①～⑥、採用候補者名簿(B)に記載された者を対象とした選考は、そのいずれか一つに限り出願できる。

(3) 書類不備のものは受理しない。

(4) 受理した書類は返却しない。

(5) 受理後の志願変更は認めない。

## 8 第1次審査

月 日	時 間	実施内容・会場等		
		一般選考受審者	特別選考受審者	
7月23日(月)	10:00～10:30	【受付】 ○小学校教諭, 中学校教諭, 小・中学校栄養教諭 城南高校(徳島市城南町2-2-88) ○高等学校教諭, 特別支援学校教諭, 小・中・高・特支養護教諭 城東高校(徳島市中徳島町1-5)	①②③④イ⑥ ※会場は一般選考受審者と同じ ※左記の一般選考受審者の午前日程と同じ	⑤イ ※会場は一般選考受審者と同じ
	10:40～12:10	【筆記審査(専門)】(注)2,3,4,5参照 ※教科等の専門的知識及び能力について審査		【受付】 12:40～13:00 【諸注意等】 13:00～13:10
	13:20～14:50	【筆記審査(教養)】 ※教育公務員として必要な教養及び知識について審査		【筆記審査(教養)】
7月24日(火)	9:30～17:00	【実技審査(音楽, 美術, 書道, 英語)】 ○中学校教諭(音楽, 美術, 英語), 高等学校教諭(音楽, 美術, 書道, 英語) 特別支援学校教諭[中・高等部](音楽, 美術, 英語) 徳島県立総合教育センター(板野郡板野町大伏字東谷1-7)		
	9:00～11:30	【実技審査(水泳)】 ○中学校教諭(保健体育), 高等学校教諭(保健体育) JAバンクちよきんぎょプール(旧徳島県蔵本公園水泳プール)(徳島市庄町1-76-2)		
	13:00～17:00	【実技審査(体育)】 ○中学校教諭(保健体育), 高等学校教諭(保健体育), 特別支援学校教諭[中・高等部](保健体育) 加茂名中学校(徳島市庄町1-76-1)		
7月25日(水) 7月30日(月)	9:00～18:00	【集団面接審査】※別に指定する日時に行う。 ○小学校教諭, 中学校教諭, 小・中・高・特支養護教諭, 小・中学校栄養教諭 鳴門教育大学附属小学校(徳島市南前川町1-1) ○高等学校教諭, 特別支援学校教諭 徳島科学技術高校(徳島市北矢三町2-1-1)		

- (注) 1 7月24日以降の日程については、受審者案内(7月23日配付)によること。
- 2 特別支援学校教諭の筆記審査(専門)は、出願する領域(視覚障がい領域、聴覚障がい領域、知的障がい・肢体不自由・病弱領域)の教育に関する専門的知識、及び、出願する校種・教科等の専門的知識について出題する。
- 3 高等学校教諭「地理歴史」の筆記審査(専門)は、「世界史」、「日本史」及び「地理」の専門的知識について出題する。
- 4 高等学校教諭「書道」の筆記審査(専門)は、「書道」及び「国語」(漢文を除く)の専門的知識について出題する。
- 5 高等学校教諭「福祉」の筆記審査(専門)は、「福祉」の専門的知識について出題する。
- 6 受付終了時刻に20分以上遅刻した者は、受審を認めない。

## 9 第1次審査の結果

平成30年8月8日(水)午後2時に、第1次審査の合格者の受審番号を県庁西側の掲示板に発表するとともに、徳島県ホームページに掲載する。また、同日、受審者全員に審査結果を文書で通知する。

なお、第1次審査の合格者は、後日指定する日までに、成績証明書を提出すること。

## 10 第2次審査 ※第1次審査に合格した者、及び、第1次審査を免除された者について実施する。

(1) 小学校教諭、中学校教諭、小・中・高・特支養護教諭、小・中学校栄養教諭受審者

月 日	時 間	実 施 内 容 ・ 会 場 等
8月15日(水)	9:30~11:20	【論文審査】 ○鳴門教育大学附属小学校 (徳島市南前川町1-1)
	13:30~16:30	【実技審査(水泳)】(小学校教諭) ○J.Aバンクちよきんぎょプール (徳島市庄町1-76-2) (旧徳島県蔵本公園水泳プール)
8月16日(木)	9:00~17:00	【実技審査(音楽・体育・英語)】(小学校教諭) ○富田中学校 (徳島市中昭和町3-77)
8月17日(金) } 8月27日(月)	9:00~18:00	【模擬授業】(養護教諭・栄養教諭を除く) ※別に指定する日時に行う。 【個人面接審査】 ※別に指定する日時に模擬授業に引き続き行う。 ○鳴門教育大学附属小学校 (徳島市南前川町1-1)

(2) 高等学校教諭、特別支援学校教諭受審者

月 日	時 間	実 施 内 容 ・ 会 場 等
8月15日(水)	9:30~11:20	【論文審査】 ○徳島県立総合教育センター (板野郡板野町犬伏字東谷1-7)
8月19日(日) } 8月26日(日)	9:00~18:00	【模擬授業】 ※別に指定する日時に行う。(注)1,2参照 【個人面接審査】 ※別に指定する日時に模擬授業に引き続き行う。 ○徳島県立総合教育センター (板野郡板野町犬伏字東谷1-7)

- (注) 1 高等学校教諭「書道」の模擬授業は、「書道」について実施する。
- 2 高等学校教諭「福祉」の模擬授業は、「福祉」について実施する。
- 3 (1)、(2)ともに、受付終了時刻(第1次審査合格者及び免除者に後日送付の日程による)に20分以上遅刻した者は、受審を認めない。

## 11 採用候補者の決定

審査結果を総合的に判定して採用候補者を決定し、採用候補者名簿(A)(平成31年4月1日に採用予定の者)又は(B)(欠員状況等により採用予定の者)に登載し、平成30年9月28日(金)午後2時に、県庁西側の掲示板に受審番号を発表するとともに、徳島県ホームページに掲載する。また、同日、第2次審査受審者全員に審査結果を文書で通知する。

採用については、採用候補者名簿の中から必要に応じて決定する。

## 12 審査結果の開示

第1次審査及び第2次審査の不合格者は、それぞれの審査結果について、口頭による開示請求を行うことができる。  
開示請求は、本人に限る。

### (1) 開示の内容

第1次審査又は第2次審査の科目別得点、総合得点及び総合順位

### (2) 受付期間・受付時間

第1次審査：平成30年8月9日(木)から平成30年9月10日(月)まで

第2次審査：平成30年10月1日(月)から平成30年10月31日(水)まで

ただし、期間中の土・日曜日、祝日を除き、毎日午前9時から正午まで、及び、午後1時から午後5時までとする。

### (3) 受付場所

徳島県教育委員会教職員課(徳島県庁9階)

### (4) 本人を確認するために提示を求める書類

受審票又は本人の顔写真が貼付された証明書類(運転免許証、学生証、旅券等)

## 13 予告

- (1) 平成32年度徳島県公立学校教員採用候補者選考審査(平成31年度実施)から、小学校教諭及び小・中・高・特支養護教諭の志願者を対象に、特別選考⑦「前年度の選考審査結果による特別選考」を設け、前年度の第2次審査不合格者のうち成績上位者に対し、前年度と同一の校種及び職種を受審する場合に限り、第1次審査を免除する予定である。
- (2) 平成32年度徳島県公立学校教員採用候補者選考審査(平成31年度実施)から、中学校教諭「英語」を志願する場合は、中学校教諭「英語」の普通免許状に加え、英検準1級相当以上の資格を有する者に限り出願できることとする予定であるので、留意すること。なお、英語に関する資格については、P4の「6 英語の資格に関する基準」を参照のこと。
- (3) 平成34年度徳島県公立学校教員採用候補者選考審査(平成33年度実施)から、小学校教諭、中学校教諭、高等学校教諭の志願者で、特別支援学校教諭、盲学校教諭、聾学校教諭又は養護学校教諭のいずれかの普通免許状を有する者には、第1次審査の総合点に加点する予定である。

## 14 その他

- (1) 平成31年4月1日時点で当該免許状を有していない場合は採用しない。
- (2) 身体等の事情により、受審に際して特に配慮を必要とする者は事前に相談すること。
- (3) 採用候補者選考審査中の負傷や疾病等については、応急処置は行うが、原則として受審者の自己責任で対応すること。
- (4) 自然災害等により審査の実施が困難な場合は日程等を変更することがある。なお、日程等を変更する場合は、徳島県ホームページを通じて連絡する。
- (5) この選考審査についての情報は、徳島県ホームページに掲載するが、さらに不明な点についての問い合わせは、徳島県教育委員会教職員課(電話 088-621-3129, 3130)にすること。